

男女共同参画



市内に自生しているカタクリ

特集

育児支援と男女共同参画

新春座談会 春よ来い！

男女共同参画

経済的不安による若年層の晩婚・非婚化

90年代からの日本経済の低迷、雇用環境悪化に伴い、実質賃金は頭打ちとなり、全労働者の3人に1人以上はパートタイム、契約、派遣などの非正規雇用です。特に若年層の就業は困難なものとなり、20～30代の失業率が上昇しています。正社員に比べ非正社員ほど晩婚化傾向にあることから、若年層の経済的不安が結婚・出産を妨げており、少子化の原因の一つと考えられています。

仕事と育児の両立が難しい現状

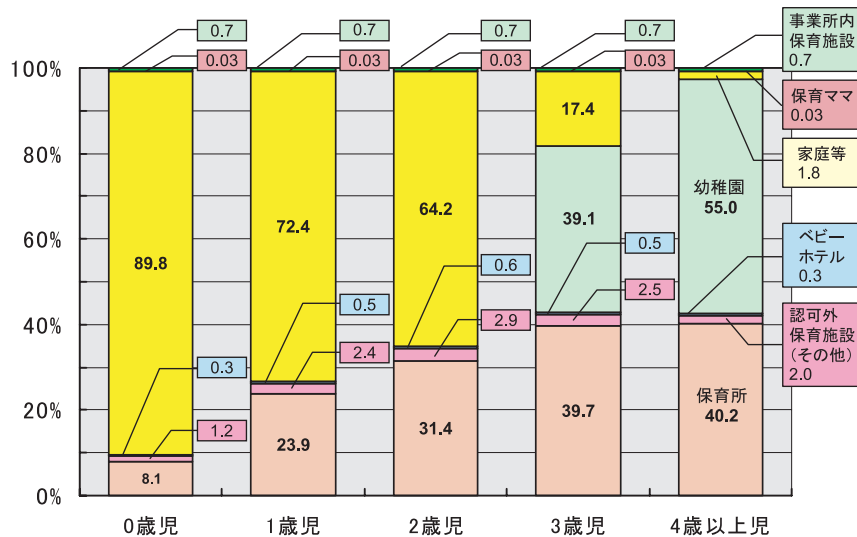
1986年の男女雇用機会均等法、2年の育児休業法施行と女性が働く環境は改善されました。しかし依然として女性の7割が結婚、妊娠、出産、育児で仕事を辞めており、就業継続は3割弱のみです。仕事と家庭の両立が難しいために一旦仕事を辞め、パートタイム労働に再就職する女性が多いのが現状です。

就学前児童への経済的支援格差

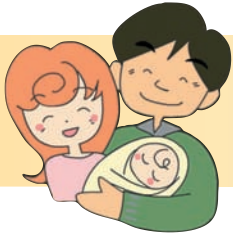
女性が働くとき、子どもの保育がネックになります。待機児童が問題とされ、平成15年から20年の間、13万人分の保育

所定員が増えましたが、待機児童は7000人しか減少せず、潜在的需要が解消されていない状況です。また認可保育所を利用できるのは「保育に欠ける」という要件に合った子どものみです。児童福祉法（昭和22年施行）上、就学前児童は「要保護児童」「一般家庭児童」「保育に欠ける児童」と区別され、この分類が保育園の利用者を制限する原因とされています。市町村には保育の実施義務があり、週の最低労働時間や同居家族の条件などの「保育に欠ける度合い」を点数化し、利用者を決定しています。その結果、低年齢児パートタイマー、求職者、年度途中では入園が困難なものとなっています。一方で母親のパート勤務増加に伴い、7割以上の幼稚園で預かり保育が行われており、幼稚園と保育園の境はほとんどなくなってきました。

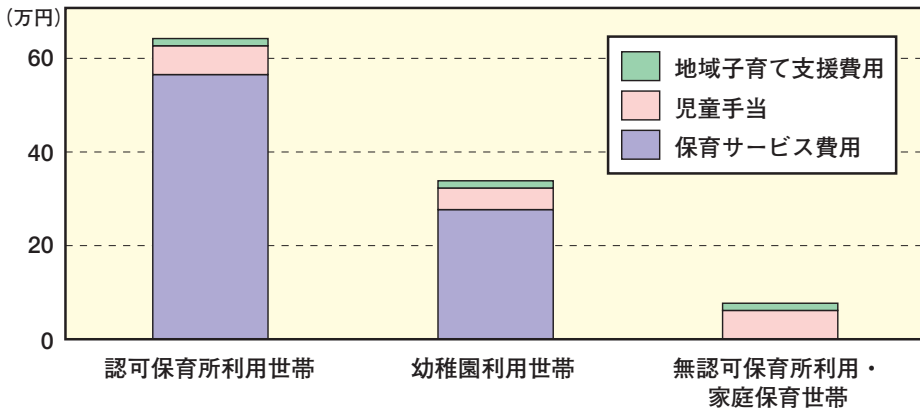
現在の就業前児童約700万人中、認可保育園利用の児童は約210万人、幼稚園利用約170万人、無認可保育園利用約30万人、家庭保育（保育サービスを受けていない）約300万人です。無認可保育園施設は小規模施設が多い中、



就学前児童が育つ場所



と 育児支援



注：上記のほかに、育児休業給付、出産育児一時金、家族手当等もある。

格差が大きい国の経済的支援

その6割以上が面積基準を満たしており、早朝夜間保育など長時間保育の受け皿になっていくようです。しかしながら無認可保育園や家庭保育、保育ママなどは公的補助がほとんどありません。公的資金公平分配の視点から保育を限られた層のみへの福祉サービスではなく、すべての子どもが全国どこでも、均一な保育

の質を最低限受けられるようにすることが求められています。

仕事と子育てを両立するために求められていること

「少子化対策に関する子育て女性の意識調査」(内閣府)によると、子育て中の保護者は保育料の軽減を約7割が希望し、保育所の数や定員を増やす、病児保育の実施などを求めています。二重保育、祖父母に預ける場合などが約5割おり、首都圏では通勤時間も考慮した延長保育、さまざまな勤務形態から夜間保育・休日保育のニーズも増えています。

誰もが安心して子どもを産み育てることができる社会。そのためには子育て負担を軽減する家族手当や教育システムの改善、育児休業をとりやすく職場復帰がしやすい職場環境の整備(短時間勤務制度、フレックスタイム制度など)子育てに配慮した勤務時間制度の充実)、女性自身の意識改革はもちろん、父親の勤務形態の改善、安定した生活が送れる雇用自体も求められるでしょう。核家族が進み、希薄化した地域の中での子育ては孤立感や不安、負担感が高くなっています。また離婚率は増加し、1人親家族はこの10年で4割近く増加しています。高齢者扶養の社会化のように、社会が家庭と

もに子育てを担い、親をサポートすることが求められています。

放課後児童クラブ(学童保育)

保育所では延長保育の午後7時まで子どもが過ごせますが、小学校1年生から3年生が小学校下校後、児童館などですぐ放課後児童クラブは午後6時までとなっており、働く親の一番の悩みとなっています。親の帰宅時間までの間は「魔の時間」と呼ばれ、放課後児童クラブにも待機児童の問題があります。この時間や学校始業前の早朝時間の保育援助(見守り、遊び、勉強など)に、人生経験豊富で子育ての終わった団塊の世代の参加が期待されます。

● 参考資料

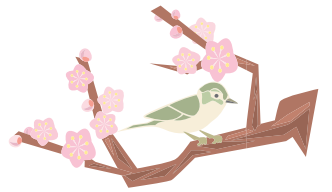
厚生労働省ホームページ

● 参考文献

- 「少子化克服への最終処方箋 政府・企業・地域・個人の連携による解決策」 島田晴雄 渥美由喜 ダイアモンド社 2007年
- 「人口減少社会は怖くない」 原田泰・鈴木準 日本評論社 2005年
- 「少子社会への11人の提言 子育て支援の方法と実践」 ニッセイ基礎研究所編 ぎょうせい 2000年

新春 座談会

春よ 来い!



事務局 ● 22号で「子育て」を特集するにあたり昨年末のお忙しい中、アンケートに御協力を頂きましてありがとうございます。はじめに今日の座談会の主旨について石川編集委員より説明をいたします。

石川 ● 私たちは前号で男も女も共に生き生きと暮らせる社会を実現するには『女性の活躍が鍵』という結論を得ました。ところが女性が仕事を続けるためには、子育てという大きな問題を乗り越えなければなりません。そこで子育てで真っ最中の保護者と毎日接している園長先生方に率直なお話をお聞きたくお集まりを頂きました。

事務局 ● 今、世界的に経済状況が悪化していますが、保護者から何か反応はありますか。

濱川 ● まだ、多摩川幼稚園では世の中でいう程の影響は感じていません。そもそも昔は、幼稚園は専業主婦、保育園は仕事をもったお母さんでしたが最近幼稚園でも、3分の1以上のお母さんが仕事をしています。また預かり保育を朝7時半から夕方6時まで行なっています。この利用についてはどんどん増えています。

今 ● 不況で会社が閉鎖し、転勤するため閉園時間に迎えに来られないとか、育児休暇をとっている



あきる野市立
屋城保育園
私市園長



私立
多摩川幼稚園
濱川園長



指定管理者
西秋留保育園
今園長

人が勤務先から「ずっと休んでいてもいいですよ」といわれ、職を失ってしまうのではと不安を抱えている人もいます。西秋留保育園では休日保育をしています。主にサービスマンに従事している人の利用が多いですね。

私市 ● 屋城保育園では母親の8割がパートで働いています。近隣のイオンモールに勤めている人が多く、土曜日も預ける人が増えてきました。

山崎 ● 波が少しずつ来ているようです。

斎藤 ● 預かり保育、延長保育が多くなると園の対応は大変ですね。

濱川 ● 子どもの立場に立って考えると長時間預けられるのは、かわいそうな気がします。小学生になると児童館の終了時間が早いので、子どもの居場所がないのが実情です。うちの園では卒園した小学生が下校時後に来て、子どもたちと一緒に遊んでいる姿を時々見かけます。

私市 ● お母さんが働くためにはどうしても長時間預けることになると思うのですが、仕事が終わったら真っ先に子どもを迎えに行くという姿勢がとても大事だと思います。親が必死になって働いている姿が子どもに通じないはずはないです。

代田 ●子どもにとってはやはり、お母さんが一番。

事務局 ●父親は育児にどうかかわっていますか。

濱川 行事への参加も多く、非常に積極的です。

今 送迎は父親が多く、かなり前から子育ては共にやっている感が強いです。

山崎 ●子どもをもう何人かほしいと思う時、ちゅうちょするのは何が原因と思われれますか。



今 会社や社会がそれに対応できるようにできていないのです。

出産で休むのは、法的には保障されているのですが、何か本人が引け目を感じるようです。休みやすい、復帰しやすい社会だったら産みやすいと思います。私は結婚、出産で辞めていく職員に「続けられるのに辞めるのは女性の社会的地位を自ら低くしている。そしてその風潮を園に植えつけていく事になる。」と必ず言っています。男性でも育児のための休暇を取ってほしいと思っています。

齋藤 ●まさしく私たち共同参画の目指すところです。

私市 公立保育園では、わりあい休暇は取りやすい雰囲気にあります。早く社会全体が産休、育休を取りやすい風潮になるといいですね。

大本 ●ワークライフバランスといっても不景気になればなるほど、父親は長時間労働を強いられ、どうしても母親に子育ての負担が大きくなってきますが、どうですか。

今 せっば詰まった状況で働いている人が多く、必死になって働かないと食べていけないのが実態

です。深刻な顔をして相談に来るときは、大体が金銭的な理由からの離婚がほとんどです。男が生活費を稼ぐことは子育ての大切な基盤になると思うのです。私は、6歳、4歳、2歳の子の父親なんですけど、いつも仕事から帰ると子どもは寝ていて子育てに関わることはできません。たまたま、子どもが、熱があるときなど、少しでも面倒見ようと思って抱くと、子どもは「ママー！」って泣くんです。代わりたくてもどうしても母親に代わることはできないことを実感しています。

石川 ●ロシアの文豪トルストイは『文読む月日』で、女には男のすることは何でもできるが男には女のやること

(出産と初期の育児)ができない。それゆえ女は、自分たちだけではできないその仕事をやり遂げるために全力を傾注しなければならぬと言っています。

山崎 ●「三つ子の魂百までも」というように初期育児の母親のぬくもりは、大人になってからの優しさや、思い遣りに結びついていくのかも知れませんね。

大本 ●今、幼稚園や保育園は需要を満たしているのでしょうか。

私市 現実に保育園、幼稚園に入れない小さい子どもと親をどう

取り巻いていくかが今、大きな問題になっています。子育てで広場などで遊ばせたり地域の行事に呼んだりしていますが……。

濱川 私たちも二歳児から未就園の子どもと親たちのために広場を提供しています。昔は地域で自然にできるコミュニティがありましたけど、今は幼稚園、保育園が子どもを通して、そのきっかけを作る役割をしています。それが学校に上がってからも地域のつながりとして存続しています。

今 乳幼児一時保育制度(※)と利用があつて、週3日以内の利用ができます。中には3日間、一杯、預けて働いている人もいます。

濱川 いい制度です。補助金が出れば幼稚園でもやりたいです。

石川 ●一時保育制度を知らない人が結構いるのではないですか。母親としてはありがたい制度です。皆に知ってほしいですね。

山崎 ●地域にある高齢者資源は、お役に立てないでしょうか。

代田 ●私たちに何かできるとしたら、小学校1、2年生の面倒ぐらいなら見られそうですね。下校して親が帰るま

事務局 ● 本日は有難うございました。

※ 乳幼児一時保育制度……

市内に住所のある就学前までの児童で、保護者が疾病、出産及び親族などの看護に当るなどにより、一時的に保育ができないときに保育所で預かる制度

・ 保育日数……週3日以内

・ 保育時間……午前7時30分から午後6時30分までの希望する時間で、1

日おおむね8時間以内

・ 実施施設……市内の私立保育園（西

秋留保育園含む）ただし、定員に余裕のある施設のみ

・ 費用（児童1人当たり日額）

※ 0歳児………

4時間以内（2000円）、

4時間以上（3000円）

※ 1歳児以上………

4時間以内（1500円）、

4時間以上（2500円）

・ 申込み・問合せ………

市役所子育て支援課子育て支援係

（電話558-1250）



で勉強まで見てあげられたら、若い人は安心して働けるでしょうからね。

私市

どんな小さなことでも、できることから一歩踏み出していったらいいですね。

濱川

「子育ては親と地域が助け合う」これに尽きるのではないのでしょうか。



子育てに関するアンケートから

（市内3保育園、1幼稚園にて2008年12月実施）

子育てで困っていること

保育園の4割以上で「子どもが病気のときに見てもらえる人がいない」、「自分の時間がない」と答えた人が保育園、幼稚園ともに3〜4割いる。「ストレスがたまると」「自分

「一緒に料理をすること」が一番多い。そして大きくなるにつれ、子ども自身が家事の戦力になっている様子が見えてくる。

（兄弟）が病気のときに見てもらえない人がいない、急用の預け先がない」も多い。そのほかには、「子どもとゆっくり過ごす時間がとれない、疲れて相手ができない」「お金がかかる、再就職が決まるか心配」「双子、障がい児の子育てのバックアップが少ない」など。幼稚園では「保育時間が短い」が2割。

また、次に多いのが「ほめる」と「子どもの話をよく聞く」。「夕食時、お風呂、就寝時などに会話をする」「スキンシップ」を心がけているという人も多い。そのために「家事を短時間に効率よくこなす」「冷凍、レンジ、タイマーの利用」「夜に洗濯し、朝の時間を確保する」そして「祖父母、父親にサポートしてもらう」「地域や園などの催し物には積極的に参加し、ママ友を作る」など、頼れるところを作る努力をしている様子である。

パートナーの家事育児について

一方、「他人と比較しないために、あえてママ友を作らない」との意見もあり。また、母親稼業は休みがないとはいえ、ストレスをためないために「少しでもいいから自分の時間をつくる」「趣味を持つ」とし、「笑顔で接すること。子どもももうまくいく」との意見もあった。子どもにとって、お母さんが楽しそうに笑顔でいることが一番うれしいだろう。

保育園、幼稚園ともに「とても協力的」というのが5割を超えている。全体を見ると父親の家事育児参加は進んでいる様子だが、その一方、「とても協力的でない」も2割弱。

子どもが小さいときから「お手伝いを遊ばせながらさせている」特に

お母さんたちの工夫していること

お母さんたちが楽しそうに笑顔でいることが一番うれしいだろう。

子どもが小さいときから「お手伝いを遊ばせながらさせている」特に

お母さんたちが楽しそうに笑顔でいることが一番うれしいだろう。

子どもが小さいときから「お手伝いを遊ばせながらさせている」特に

お母さんたちが楽しそうに笑顔でいることが一番うれしいだろう。

子どもが小さいときから「お手伝いを遊ばせながらさせている」特に

お母さんたちが楽しそうに笑顔でいることが一番うれしいだろう。

子どもが小さいときから「お手伝いを遊ばせながらさせている」特に

お母さんたちが楽しそうに笑顔でいることが一番うれしいだろう。

子どもが小さいときから「お手伝いを遊ばせながらさせている」特に

お母さんたちが楽しそうに笑顔でいることが一番うれしいだろう。

子どもが小さいときから「お手伝いを遊ばせながらさせている」特に

お母さんたちが楽しそうに笑顔でいることが一番うれしいだろう。

子どもが小さいときから「お手伝いを遊ばせながらさせている」特に

お母さんたちが楽しそうに笑顔でいることが一番うれしいだろう。

子どもが小さいときから「お手伝いを遊ばせながらさせている」特に

お母さんたちが楽しそうに笑顔でいることが一番うれしいだろう。

認 証 保 育 所

な〜に？

女性の社会進出に伴い、国の認可保育所の受け入れ基準では、いろいろのニーズにこたえられず子育てと仕事の両立が難しくなってきました。そこで東京都では新しい保育ニーズにこたえるため平成13年に「認証保育制度」を創設しました。この制度により誕生した市内の認証保育所を訪ねてみました。(1月21日)

ウッディ・キッズ

建物の概観は、一般家庭のようだが中に入るとたたみの部屋や、コタツまであり、様々な工夫があつて温かい家庭の延長というこだわりを発見することができる。園庭は、あきる野市の大自然。その中で親も子も共にはぐくまれる。

「明日から働かなくてはならないので、子どもを預かって欲しい。」という電話がよくかかってくる。保育の緊急性を要するお母さんの強い味方である。



「親戚の家に預けるつもりで来てください。こしお頼るところのないお母さんを見捨てられません。」そう話している園長のひざの上に子ども

が寄ってきてちょこんと腰掛けた。

みどりの園

大きな特徴は、モンテッソーリ教育をすること。その目的は、子どもたちが自分の好きなことを見つけ出して欲しいとのこと。

整然とした室内には、木製品等が並び子どもたちが興味をわいたものをいつでも手に取れるようになっている。お母さんの就労の状況は問わないので、どんなことでも相談に応じている。

「子どもを預かるだけでなく、それぞれの家庭の子育て感を大事にしながら(一緒に子育て)を心がけています。『美容院に行きたい』『兄弟の学校行事に出席したい』など、または子育てがストレスになってしまっている方も、何でも言ってみてください。」と、園長さんのお話。

子どもたちの笑顔とお母さんたちの本音のありがとうがパワーになっているという、二人の若い園長さん。ご自身の目指す保育に全力疾走する姿はとてもc o o rで素敵でした。



市内の保育・幼稚園など連絡先

施設名	電話番号	施設名	電話番号	施設名	電話番号
●認可保育所●		●認証保育所●		●幼稚園●	
東秋留保育園	558-1104	五日市保育園	596-0339	秋川幼稚園	596-0630
西秋留保育園	558-1105	五日市わかば保育園	596-3472	秋川文化幼稚園	558-5773
屋城保育園	558-1106	光明第六保育園	596-1303	草花幼稚園	558-3018
神明保育園	558-1107	ミニルームよつぎ	532-5442	すもも木幼稚園	558-8593
すぎの子保育園	595-0450	あきる野こどもの家	550-6245	多摩川幼稚園	558-0218
草花保育園	558-7811	あきる野こどもの家 DUE	550-6245	ほうりんじ幼稚園	558-9067
よつぎ第一保育園	558-7221	●家庭福祉員●		●幼稚園類似施設●	
よつぎ第二保育園	559-0515	みどりの園	550-9570	ころりん村幼児園	559-4522
秋川あすなろ保育園	558-8299	ウッディキッズ	550-0330		
誠和保育園	596-3301	ひまわり	559-3801		
増戸保育園	596-4627				

*申込みについては、認可保育所は、児童課保育係(電話558-1982)へ、その他の施設については、直接お問合せください。

ファミリー・サポート・センターを訪問して！

有償ボランティアサービスです！



核家族の若い家庭にとって、子育ては大変なことです。そこで地域の皆さんで応援してみませんか。子育ても終わり孫もいるベテラン育児体験者の方々にぜひ、子どもたちに関わって一緒に地域で活動してはどうでしょうか。センターでは利用者に対して、提供者が少なくコーディネートがうまくできない状況もあるとお聞きしました。

若い人達とのふれあいと、子どもたちからのエネルギーも刺激になります。見守りから一歩踏み出して子育て支援をお願いします。まずは養成講習会に参加してみたいかがですか。

★こんな援助活動が行われています

- 保育所や幼稚園への送迎や、その前後の預かり
- 小学校や学童保育所への送迎や、その前後の預かり
- 保護者が学校行事や地域活動への参加、冠婚葬祭や求職活動などでの外出時の一時預かり
- 保護者の病気時や通院時、子どもの病気回復期の一時預かり

★会員の条件

- 依頼会員（援助をして欲しい方）
市内に在住し、生後57日から小学校6年生までの子ども
の保護者で、育児援助を必要とする方
- 提供会員（援助をしたい方）
市内に在住している心身ともに健康な20歳以上の方

★詳しくは、

あきる野市ファミリー・サポート・センター

（電話）550-3855

Report レポート

第13回

女と男のライフフォーラム in あきる野

愛が暴力に変わるとき

あきらめない、つながろう！



平成21年2月8日（日）あきる野ルピアホールで、「愛が暴力に変わるとき」をテーマにしたライフフォーラムが、134名の参加で、盛大に開催された。

第一部は、エンパワーメント・センター主催の森田ゆりさんによる基調講演。

25年にわたり米国と日本で、子ども・女性への虐待防止専門職の養成に携わり、日本にCAP（子どもへの暴力防止）プログラムを紹介された。現在は、行政、

企業、民間の依頼で虐待などをテーマに日本全国で研修活動されている。

森田さんは、お父さんが自分の生き様を書かれた本の紹介から、人はそれぞれが自分の物語を語る。お説教や、成功話ではなく、生き様を語ることがたくさんの人たちに力を与えることができることと話された。続いて、会場の参加者と寸劇を行い、日常の中に潜むドメスティック・バイオレンス（DV）を表現し、DVは加害者が相手に対する優越性と所有関係を維持するための手段であると語られた。続いて暴力を怒りとするならば、怒りは、仮面でありその内側の感情（気持ち）を刺激する行為が過去に起きた傷つき体験が元であり、気持ちも大切にすることが幸せにつながると締めくくられた。

第二部は、パークセッショングループT O N E S によるミニコンサート。

3台のマリンバが奏でる調べは、時に力強く、時に流れるように、心を満たしてくれる調べでした。



編集後記

ワークライフバランスの中で子育ては重要な課題の一つです。今回はアンケート、座談会、保育施設の現状を見ながら何が育児に役立つか編集しました。その中で育児休暇は当事者の考え方、社会の風潮、職場体制の変革で育児をしやすい重要な鍵があり、時代と共に考え方をチェンジしなければならない時が来ています。その他、施設の案内、一時保育等を掲載しましたので参考になれば……。

～編集委員のつぶやき～

●お詫びと訂正●

2008.10月発行第21号4面の伊東満子さんは「健康づくり市民推進委員会 会長」の誤りでした。お詫びして訂正します。

情報誌編集委員

石川 光代・大本 浩子・斎藤 映子・代田 富貴子・山崎 経子

表紙写真 ……表 美子

「エフ・ウェイブ」は公募の市民編集委員により編集しています。

エフ・ウェイブ 第22号 2009年3月発行

発行／あきる野市市民部市民課 〒197-0814 あきる野市二宮 350番地
TEL 042-558-1111 FAX 042-558-1116
企画・編集／あきる野市男女共同参画情報誌編集委員会

再生紙を使用しています

